



ワイズメンズクラブ 国際協会 西日本区

京都部部報

3号 / 2024-2025年度版 BULLETIN



THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y'S MEN'S CLUBS

REGION

ワイズメンズクラブ国際協会西日本区



JAPAN WEST

京都部 部長主題

あなたが主役!!! It's up to you ワイズライフのお祭り騒ぎ

京都部部長

山下 大輔 (京都トップス)

西日本区理事 主題

「つなげよう地域と世界、YMCAと共に」

“Connecting Local to the World with YMCA”

西日本区理事

鵜丹谷 剛 (神戸)

スローガン

「楽しもうフェロウシップをポジティブに」

“Enjoy positively our fellowship”

国際会長 主題

“Together for a Better World” 「より良い世界のために、共に」

国際会長

A・シャナヴァスカーン
(インド)

スローガン

“Arise and Shine” 「立ち上がろう、そして輝こう」

アジア太平洋地域会長 主題

“Make a Great Impact” 「大きなインパクトを起こそう」

アジア太平洋地域会長

Joan Wong

ジョウン・ウォン (台湾)

スローガン

“Be Bold and Serve by Faith” 「大胆に、信念を持って奉仕しよう」

最高の一年を過ごすことが出来ました！ 本当に皆様ありがとうございました！

29期京都部もあっという間に終わりを迎えられることができました。期の始まりはどうなるのか大変心配でしたが、事業をこなしていくうちにキャビネットや各主査さん達と事業を進めて行くのが楽しすぎました！無事色んな事業をこなせたのもキャビネット・主査の皆のお陰で無事終える事が出来ました。

「何をするのかでは無く、誰とするのか！」

29期京都部の名言でこの一年間楽しく過ごせました事を改めて感謝致します。

この行動で色んなワイズ活動や、YMCA活動に繋がって行くと感じております。

また、今期の各クラブ会長さんともより一層の交流をさせて頂き京都部全体で盛り上げて頂いた事を感謝致します。期の始まる前から会長会のグループLINEを作って頂き僕も招待してもらい、始まる前から楽しくなると確信しておりました！間違いなく楽しい一年を過ごさせて頂きました。期が始まってすぐの事業が部長公式訪問ですが、話すのが苦手な部長をどのクラブさんも暖かく見守って頂き助かりました。今期は、京都部会やワイズデーでは皆さんにご協力ばかりでしたが、主題でもあります様に、「あなたが主役！」ワイズライフのお祭り騒ぎ！を皆さんで楽しむことが出来たのではないかと感じた一年でした。

皆様のご協力のもと29期京都部を締めくくる事が出来たことを感謝致します！

最高の一年を過ごすことが出来ました！

本当に皆様ありがとうございました！



京都部部長 山下 大輔

(京都トップスワイズメンズクラブ)

■今期を終えて 部役員



次期部長 隠塚 功
京都パレスワイズメンズクラブ

京都部第 29 期の部長を始め、主査やキャビネットの皆さん、そして各クラブ会長を始め各クラブ内の役員の皆さん、一年間お疲れさまでした。各クラブが主体性をもって活動され、京都部としてそれを盛り上げていく一年を、山下部長の横で見せていただきました。明るく団結力の強い京都部役員でしたから、各クラブでの活動も楽しく団結力のある一年になったものと思っています。さて今期、山下部長はほとんどの事業に参加され、参加されている各クラブの皆さんとの交流を深められたと思います。私も交流による楽しさを京都部メンバーに理解していただきたと考えていますので、できるだけ多くの事業に参加し、顔の見える関係を築かせていただきたと思っています。また、一方で京都部による各クラブや YMCA へのサポートが、お互いに実感できるようにも取組ませていただきたとも考えています。新たに隠塚カラーを皆さんにお示しできるように頑張っていきたいと思います。



直前部長 武村 松一
京都ウイングワイズメンズクラブ

まずもって、山下部長！一年間お疲れ様でした。去年の今頃は、不安でいっぱいやったと思います。しかし、この部報が出るころは満足感・充実感・やった感及び安心感で満ち溢れてることでしょう。前期のことをほとんど覚えてなくて、いろいろな質問や疑問にも明確に答えられず、ほとんど協力できませんでした。見事任務を遂行されました。これからの一年もいろいろご一緒させていただきますが、格段に肩の荷を下ろした山下直前部長の姿を見ていくことになるでしょう。あと一年、また遊んでくださいませ。加えて、部役員の皆様にもお世話になりました。ありがとうございました。前年とはまた違った一年間となりました。皆さまのこれからの活躍をお祈りしています。



監事 石倉 尚
京都キャピタルワイズメンズクラブ

いよいよお役を降りる時が来ました。思い返せばキャピタルに輪番が回ってきた 2020 年 1 月に次々期部長を受け、2 月エイブルクラブ 30 周年を最後にチャリティーボウリング中止に始まったコロナ渦真っ只中、中止、中止、中止……。5 月中村次期部長より「部の上半期すべての事業中止を決めたのでもう 1 年部長を」との熱い思いを受け、今までで一番長い次々期部長期を経て、2021 年 7 月より次期部長として京都部役員となり今年 6 月で 4 年間の部役員の任を全うすることになります。この 1 年は監事として部の動向を俯瞰的に見ていました。山下部長、キャビネット、主査、委員長と若いパワーには感心するばかりでした。皆様お疲れさまでした。武村直前部長、あと 1 年監事としてのお役目頑張ってください。お先に失礼します。いよいよ始まる隠塚部長期、京都部をより良い方向へと導いてください。これからは京都部の 1 メンバーとして精一杯活動してまいります。ありがとうございました。



統括担当主事 **藤尾 実**
京都 YMCA

この一年間、国際協力街頭募金、チャリティーバザー、インターナショナル・チャリティーランなど、さまざまな活動において、多くのワイズメンズクラブメンバーの皆様にご支援をいただき、事業を実施することができました。心より感謝いたします。また、リトリートセンターの維持管理作業やフェスタの運営など、京都 YMCA の諸活動にも多大なるご協力をいただき、改めて御礼申し上げます。さらに、YYY フォーラムでは、ワイズメンズクラブの皆様、ユースボランティアリーダー、YMCA スタッフがグループディスカッションを通じてお互いを知り、気づきを得る貴重な機会となりました。この交流が、今後の協働へとつながる大きな一歩になったと感じております。そのほかにも、さまざまな場面で YMCA の活動を支えてくださっている各クラブの皆様のご尽力に、深く感謝申し上げます。今年、京都 YMCA は 2024 年度から始まった中期計画の 2 年目として、コロナ禍で途絶えていた多くのつながりを再び結び直し、地域社会の課題解決、つながりの再構築、人材育成に取り組んでまいります。また、2026 年に開設 60 周年を迎えるリトリートセンターを、京都 YMCA の青少年育成の拠点として再整備するため、「リトリートセンター 60 周年記念募金」を通じた記念事業も推進していく予定です。YMCA とワイズメンズクラブが「車の両輪」となり、ともに地域から必要とされる存在として、社会課題の解決に取り組んでいきたいと考えております。今後とも変わらぬご支援・ご協力のほど、よろしくお願いいたします。



書記 **河原 正浩**
京都トップスワイズメンズクラブ

京都部各クラブの皆様山下部長のフルスイングにご協力頂き誠にありがとうございました。微力でしたが 1 年間何とか役目を全う出来ることができ安堵しています。準備から約 1 年半、年間スケジュール作成から始まりなんと事業の多い事にビックリした事を懐かしく思い出しています。私の役目は役員会・評議会資料及びレジュメ作成、役員会・評議会の進行役で活舌の悪い私としてはプレッシャーの日々で皆様の温かい声掛けでスムーズな進行役が出来ました？各事業も重要な事ですが一番はなんと言っても他クラブメンバーさんとの親睦が出来たことが大きな財産だと感じています、十数年前に部書記をさせて頂いた時とは良い意味で雰囲気の違いが流れて行った気がしています（私が年を取っただけ）一年間本当にありがとうございました。



書記 **河原 信也**
京都トップスワイズメンズクラブ

今期は私にとって大変充実した 1 年間でした。
その大きな理由の一つとして、京都部書記として三役会・役員会・評議会・様々な事業に参加したことです。初めて経験することも多く、大変刺激的でした。
また、京都部を通じて他クラブのメンバーと仲良くなれたことは、何とも言えないような高揚感がありました。来期は、今回の経験を生かして自クラブをより良いものに出来るよう一翼を担いたいと考えております。結びにあたり、京都部の運営にご理解・ご協力をいただいた皆様に厚く御礼申し上げます。



会 計 **加藤 信一**
京都トップスワイズメンズクラブ

山下京都部部長期（第 29 期）会計を拝命いたし早一年が経てしまいました。この一年間、京都部の会計業務を通してワイズメンズクラブの理解を深められたことと、京都部の皆様との新たな交流が出来たことが本当に良かったと思います。会計の仕事としては、まず予算書の作成、前・後期の部費の徴収、ワイズデーでは、協賛金（募金）及び物販の集計等がありました。ワイズデーでは西日本区からの支援金をいただきありがとうございました。あとは、次期の第 2 回評議会にて今期の決算報告をして業務を終えます。皆さま、一年間大変お世話になり心より感謝申し上げます。ありがとうございました。



会 計 **舞田 智之**
京都トップスワイズメンズクラブ

29 期京都部で過ごした一年間

29 期山下京都部部長期に会計をさせていただきましたトップスクラブ舞田です。
当初はろくに最近活動もしていないし他クラブでの知人も少ないのにと、少し不安でしたが期がまだ始まる前の準備役員会が終わるころには部長を中心にお祭り騒ぎが始まっておりました。期が始まり事業をこなしてく中でさらに主査、キャビネットの仲間意識は強くなり、その勢いで考える猶予も与えられず気が付けば期が終わろうとしております。少し寂しいです…仲が良く懇親も重ね、Y サでは例年通り一年中 YMCA の方ワイズとプログラムをこなし、地域奉仕では素晴らしいワイズデーを開催され、EMC は過去最高のメンバー数を記録し、交流では西日本区大会にて新たに DBC の締結、九州などでツーリングによる交流活動、PR ではインスタグラムを取り入れて広報の活動と、皆さんたらふくお酒飲んでたのにしっかり切り替えて活動され、全員格好いいメンバーでした。このメンバーの一員で一年間楽しませてもらったこと、研鑽させてもらったこと、そして 50 過ぎて新たに仲間が増えたこと本当に感謝いたします！
そして…山下大輔部長本当にお疲れさまでした。 めちゃくちゃかっこよかったぜ！！！！



事務局長 **相田 広継**
京都トップスワイズメンズクラブ

皆様 1 年間ありがとうございました。

山下部長のもと事務局長の大任を果たせたのではないかと考えております。

部長の秘書と自分自身で言っていましたが、各クラブの会長さんや京都部の各メンバーさんのお役に立てればと思っています…京都部皆さんの秘書だったのかな～なんて思ったりもしています。京都部の各会長さんは期によって毎年変わるのでその年の良さがあるとは思っています。他の期のことはよくわかりませんが、今期の会長はいい人でステキな人たちで最高でした！！自クラブのこともよくわかってないのに、全くわからない京都部のことをすることになった僕にたいして、皆さんは温かく気さくに話しかけてくれるんです。良いメンバーに巡り合えました。会長さんよりも多く、月 1 以上接していたのは部長をはじめとするキャビネット、各事業主査さんや役員の皆様です。言わずもがな最高にステキでカッコイイ人たちです！！要するに、メンバーに恵まれた最高の 1 年を過ごせたということです！！
お世話になりました！！本当にありがとうございました！！！！！！

■今期を終えて 事業主査



主
題

素晴らしい未来に向かって ～YYYの協働～

YMCA サービス・ユース事業主査

西村 和真

京都洛中ワイズメンズクラブ

後期に入り Y サ・ユース事業として印象深いのは「青い空と白い雪のキャンプ」。今回 2 回目の開催でしたが、昨年私は参加することが出来ず初めての参加でした。たくさんの子供たち・病院関係者・YMCA スタッフ・リーダーそしてワイズとで 2 日間箱館山スキー場で思いっきり楽しく過ごすことが出来ました。今年 8 月の「青い空と白い雲のキャンプ」もぜひ参加したいと思っています。まだ参加したことがないメンバーは、ぜひとも一度参加してみてください。3・4・5 月も「ミニバスケットボール大会～リーダー活動感謝会～リトセンチャリティーゴルフ大会～チャリティーラン」とたくさんのイベントありました。残念ながら雨のため「さくらフェスタ」は中止となりました。そして今期最後の Y サ・ユース事業の「京都部 YYY フォーラム」を 6 月 1 日（日）に京都 YMCA リトリートセンターにおいて開催することが出来ました。天気も良く総勢 61 名の YMCA スタッフ・リーダー・ワイズが集まり素晴らしい交流が出来ましたし、今後も YYY の交流・協働が YMCA を盛り上げていけることを感じました。そして今期を振り返ると私個人的にはいろいろと大変な一年でしたが、充実した楽しい一年でもありました。Y サ・ユース事業に限らず京都部すべての事業が充実したものでした。一年間一緒に京都部を盛り上げてくれたすべてのクラブすべてのメンバーの皆様に感謝申し上げます。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。



主
題

地域奉仕と環境の事を考え ～ワイズをもっと愉しもう～

地域奉仕・環境事業主査

堂脇 武

京都 ZERO ワイズメンズクラブ

改めまして、今回山下部長に声をかけて頂き、地域奉仕・環境事業主査を拝命しました、京都 ZERO クラブの堂脇です。ほぼスリープ状態でしたので、最初は本当にビックリ!! しました。また、このタイミングで自クラブの周年例会実行委員長の話もあり、いろいろな役回りかなとも思いましたが、流石に二役は難しく、メンバーに相談し、この度は京都部の役員をさせて頂く事になりました。ただ、全く主査の役割なども分からないまま初めての役員会に出席。当初はかなり緊張しておりましたが、キャビネットの皆さんや他の主査や委員長はじめ役員の方々に温かく迎えて頂き、緊張がほぐれたあの感覚は今でも覚えております。気さくな感じで話しかけて頂き本当にみなさんには感謝しております。改めましてありがとうございました。さて、CS 主査と言えば、やはりワイズデーの企画・運営が 1 番の大仕事だったと思います。部長の想いをカタチにする！あなたが主役、ワイズライフのお祭り騒ぎを実現する事だけを考え、役員のみなさんはもちろん、各クラブのメンバーさんには本当に助けて頂き感謝しております。当初はこんなイベント出来るのかなあ？不安でしかありませんでした。近づくにつれ不安は募るばかり、それが、あのような盛大なワイズデーが出来た事、感謝してもしきれません。ワイズメンの底力を感じる瞬間でもありました。また、今期の京都部はとにかく楽しい^_^よく食べ、よく飲み、よく歌う！後会が楽しくて出席してました！コレから永く付き合える友が出来たと思います。最初は想像もして無かった、、山下部長の為に集まった面々が創り出すストーリーが素敵でした。一年間本当にありがとうございました。



主
題

ASK ONE!

～声かけよう、知ってもらおう、集まろう～

EMC 事業主査

松島 正雄

京都ウイングワイズメンズクラブ

29 期を終えて私が一番に思う事は、山下部長率いる役員の皆様と過ごした1年4カ月が最高に楽しく充実した日々だったと言う事です。沢山のクラブの例会に参加させて頂き、多くのメンバーと交流をもたせて頂き、仲間の大切さと本当の親睦を知る事の出来た素晴らしい29期でした。勿論、大変なこともありました仲間と悩み乗り越えていき成功に導く達成感は生涯の宝物です。本当に EMC 主査に選んでくれたことに感謝しております。以前は自クラブ内での喜びしか知らず他の事はあまり関心もなく、ましてや京都部全体の事など考えたこともありませんでした。しかし、部長公式訪問随行や入会式の参加、2 回の EMC 懇談会の開催・EMC シンポジウムの開催などを通じて京都部 18 クラブの成功を願えるようになりました。そして EMC 主査として私に何が出来るのか? など広い視野でワイズの事を考えるようになりました。私自身が成長する事が出来た一年だったと思っています。それもひとえに京都部役員の皆さんと各クラブの会長・EMC 委員長、そして応援して下さったメンバーの皆様のお陰です。この一年間、沢山の入会式や例会に参加させて頂き私なりの経験と価値観でワイズの素晴らしさを話させて頂きましたが、少しでも今後の会員増強の参考になる話が出来ていれば幸いです。私自身 会歴 10 年ほどの経験しかない中、何が正しいのか? どうしたら会員が増え退会を留める事が出来るのか? を模索しながら皆さんと一緒に、考えながら走った一年だったと思います。しかしその結果、私が強く思った事があります。それは単純に「ワイズメンとの親睦を深める事で殆んどの問題は解決するのではないか!」と言う事でした。親睦を深める事から始まり、自己研鑽を図り、奉仕の心を育て、培ったエネルギーを社会に還元する! 全ては親睦を深める事でおのずと良い方向に物事が進んでいくと感じました。親睦を深めると他人への愛情が芽生え自分との距離が縮まります。これからも京都部 18 クラブのメンバー全員が入会して良かった! と思えるクラブになる事を願ってます。会員増強・会員維持は本当に難しく私自身が一番学ばせて頂いたように思います。

結びになりますがメンバーの皆様にはいつも温かく迎え入れて下さった事を心より感謝いたします。本当に一年間有難うございました。これからもワイズの仲間として宜しくお願い致します。

第29期 京都部 photography

《YMCA インターナショナルチャリティーラン》





主
題

交流(interaction)で 具現化するワイズダム (ワイズの世界、ワイズ運動の状況)

国際・交流事業主査

角谷 多喜治

京都ウエストワイズメンズクラブ

先ずはこの1年間主査としての活動を温かく見守って頂いた、我がクラブ京都ウエストクラブに感謝する共に、改めて在京各クラブの会長を始めとするメンバーの皆様、そして京都部部長を初めとするキャビネットの皆様の「国際・交流事業活動へのご協力」心から感謝申し上げたいと思います。

ワイズ運動を進めて行く上での原動力となる「親睦」は、その相乗効果により「個」の能力や可能性を大きく上回るエネルギーを獲得する場合があります。このエネルギーを社会に放出する際に、YMCAやその他の類する団体と共に活動を行うことはワイズメン自身が自ら定めた奉仕クラブとしての役割だと思っています。お互いに理解し又、尊重する関係を築くには、ある程度の制限(ワイズの規約等)の下で行う方が有効的なのかもしれません。

その上で、メンバー同士が思う存分互いに行き来し、異なる地域・組織・系統のメンバーとの交流する機会を持ち、また、その間でさまざまな物事のやりとりを積極的に行うことでワイズダムが具現化出来るのでしょう。

京都部山下部長期を支える三役の皆様、各主査・PR委員長の皆様、そして何よりも京都部ワイズメンの皆様との活動から「交流活動の素晴らしさ」を体現することが出来ました。精一杯楽しめそして改めてワイズ活動の素晴らしさを実感することが出来ました。

どうぞ皆様、ワイズを楽しみましょう！そして未来へ繋げていきましょう！



主
題

未来を見据えてチャレンジ！ ～ Next Decade ～

PR 委員長

服部 洋典

京都パレスワイズメンズクラブ

早いもので、もう1年が終わりました。

今期の活動目標として掲げた「新しい世代への発信」。果たして、どこまで出来たのか。新しい広報ツールとして「インスタグラム」を用いた発信を試みました。期末の時点で、

647人のフォロワー数を獲得し、ワイズ以外の方々にも微力ながら発信できたのではないかと思います。インスタグラムについては、単年で成果を判断する事は難しいと思いますので、次期の澤田PR委員長にお願いし、PR専任委員会の直前PR委員長として、もう1年、継続してインスタグラム発信を行なう事となりました。

PR委員長としてのお役目は終わりますが、引続き、京都部の情報発信をお手伝いしますので、よろしくお願い致します。クラブを跨いでのワイズ活動を経験する事で、様々なプロセス手法や体験をすることができ、また一つ自身が成長できたのではと感じます。最後になりますが、京都部役員というお役目を与えて頂きました、山下大輔京都部部長を始め、キャビネット、役員の皆さま、さらには輩出して頂いた京都パレスクラブメンバーに感謝致します。

■今期を終えて 各クラブ会長



主
題

Find and share each other's strength together

副
題

いいところを見つけ合おう

京都ワイズメンズクラブ
会長 竹花 佑磨

ワイズメンズクラブの会長としての一年間は、本当にあっという間でしたが、多くの学びと出会いに満ちた、かけがえのない時間となりました。期初からメンバーが減少し、いかに個々の力でクラブを支えてきたのかを実感する、苦しい船出となりました。しかし、だからこそ「このままではいけない」と強く思い、一つ一つ課題を乗り越えてまいりました。今期のテーマ「いいところを見つけ合おう」を常に意識しながら、前半はクラブ内の交流を深めることに注力し、後半にはメンバー増強に向けた取り組みを進めてきました。その結果、クラブ内の会話や笑顔が増え、メンバー増強への基盤づくりが少しずつ形になってきたと感じています。現在、京都クラブは少人数となっていますが、メンバー一人ひとりが危機感を持ち、より良いクラブを目指して、他クラブへの訪問など積極的に行動しています。これからも一丸となって歩んでいきたいと思います。また、会長同士の絆もこの一年で大きく深まりました。悩みを共有し、励まし合い、時には笑い合う中で、かけがえのない仲間ができたことは、私にとって大きな財産です。そして何より、京都ワイズメンズクラブの皆さんが、こんな私を温かく支えてくださったことに、心より感謝申し上げます。至らぬ点も多々あったかと思いますが、皆さんの支えがあったからこそ、最後まで務めを果たすことができました。

今後は一会員として、これまで以上にクラブ活動に関わりながら、皆さんとともに歩んでいければと思っています。一年間、本当にありがとうございました。



主
題

本質を探究しよう

副
題

ともに成長しよう

京都パレスワイズメンズクラブ
会長 谷口 龍一

会長を務めてきたこの一年。「本質を探究しよう」という主題を掲げて取り組んでまいりましたが、メンバーの皆さんのご尽力のおかげで、クラブ全体が充実した活動を展開できたと自負しています。

特に、この一年間で新たに15名の仲間を迎えられたことは、大きな喜びでした。新しいメンバーが加わったことで、クラブに新たな風が吹き込み、より活気あふれる活動となったと思います。また、各事業が非常に活発に行われ、例会や委員会活動でも「なぜこれを行うのか」「本当の意味は何か」という問いを常に意識しながら、深い学びや新たな気づきに繋がるものになったと感じています。また、京都部の役員の皆様や、他クラブの会長様方と交流させていただけたことも、非常に楽しく貴重な経験となりました。様々な視点や価値観を学び、自クラブの活動へのヒントや刺激をたくさんいただくことができました。最後に、これまでご指導・ご支援を賜りました京都部の皆様に心より感謝申し上げます。今後も互いに学び合いながら、より実りある活動を続けてまいります。

誠にありがとうございました。



主
題

The 交流

副
題

Go for it
～いまを存分に生きる～

京都ウエストワイズメンズクラブ
会長 中野 かおる

1年間務めさせていただきました会長職を、今月をもちまして無事終えることとなりました。
在任中は、至らぬ点多々あったかと存じますが、皆さまの温かいご支援とご協力により、無事に任を全うすることができましたこと、心より御礼申し上げます。
今期の最大の行事でありました「創立45周年記念例会」も、皆さまのお力添えのもと、盛会のうちに開催することができました。ご来場の方々からは「印象深く、心温まる会であった」との言葉を頂戴し、会長としてこの上ない喜びと誇りを感じております。
また、年度テーマとして掲げた「The 交流」のもと、他クラブとの関わりも積極的に図り、メンバーの皆さんにも各所でご尽力いただきました。例会や行事への参加を通じ、つながりの大切さと、クラブ活動の奥深さを再認識する機会に恵まれましたことは、私にとってかけがえのない学びであり、経験となりました。
今後は一会員として、これまでと同様、前向きな姿勢でクラブ活動に取り組み、皆さまとともにより良い時間を重ねてまいりたいと存じます。
日頃よりクラブを支えてくださる皆さまへの感謝を申し上げ、退任のご挨拶とさせていただきます。
1年間、誠にありがとうございました。



主
題

目の前にいる人を幸せにする

副
題

一人の幸せがみんなの幸せ

京都めいぷるワイズメンズクラブ
会長 山田 登喜雄

京都めいぷるワイズメンズクラブ 42期会長を仰せつかり、アッ！！という間に今期もあと僅かとなりました。
正直に申し上げますと、私に真面目な会長業務が出来るのか？とても不安があるスタートで御座いましたが、一つ一つを丁寧にそして一生懸命に行う事により、無事に今期が終える事が出来そうと本当に何よりと感じております（やりすぎがあったとしても、山下部長の「お祭り」を言い訳に出来ました！！お陰で色々と助かりました！！誠に有難うございます。）
今期にて、何かを成し得たわけではございませんが、次に繋がる雰囲気は作れたのではと思います。
前期の「絆」を大事にし。今期の「幸せ」をめいぷるクラブメンバーはもちろん、ワイズメンズの皆様に感じて頂けましたら幸いです。
会長になって初めてワイズが解ると言われておりましたが、本当にその通りでした。「友」「仲間」がたくさん増え、日々が充実する毎日でした。お腹も充実致しましたが・・・・・・
改めて皆様に感謝申し上げます。ワイズメンズクラブに入って良かったです！！



主
題

『原点を共有し、未来を紡ぐ』

京都キャピタルワイズメンズクラブ

会長 左近 宏崇

まずは、皆さま、1年間ご協力いただき、誠に有難うございました。私の人生の中で多くの出来事が記憶に残る素敵な一年間が過ごせました。

今期は台北訪問と熊本むさしクラブとの DBC など、例年にはないイベントがあり、この期に会長をさせて頂いて幸せでした。直前に決まった台北クラブ訪問。直前過ぎて一人で行こうと思ってましたが何と 6 名もご一緒にいただき、涙が出そうでした。多くのメンバー・メネットさんが各事業・例会に参加くださる。ホント恵まれているキャピタルの会長は・・・と、目一杯楽しむことに集中出来ました。次々期会長内定の 2 年半前、42 期会長としてなすべき事は「会歴の浅いメンバーに役員を経験頂く」事だと決めました。この先の会長となるメンバーの役員経験がやや不足していると感じた為です。役員 13 名のうち 10 名を会長未経験のメンバーで役員編成し、ご意見番たる先輩方が役員会に少ないなどのご忠告も多く頂きましたが我を通させて頂きました。

しかし、懸念は的中しました。見落としている事も多く、役員の皆さまに多大な負担をお掛けしてしまいました。本当に助かりました感謝しきれません。初役員の方は分からない事も多く大変だったと思います。ですが今後 10 年のキャピタルにとって良かったんだと信じます。

皆さま、一年間お支え頂き本当にありがとうございました！がっつり楽しめました感謝！



主
題

楽しみながら行動しよう！

副
題

Have fun doing it!!

京都プリンスワイズメンズクラブ

会長 岸 裕也

2024 年 6 月からプリンスクラブ第 39 代会長を務めさせていただきました、岸です。当クラブ三役、役員、メンバー、メネット、コメットの皆様にお支えいただき、無事職責を終えることができ、ほっとした気持ちであるとともに、もっとやれること、やりたいことがあったなと心残りもあります。しかし、健康面においても腹八分目が体に良いといわれるように、最大限やりつくして燃え尽きるよりは、もう少しやれたかと思えるくらいでちょうど良かったと、自身で納得している次第です。また 2023 年の京都部会で、山下部長、各クラブの会長と顔合わせをして、京都部のメンバーの方々と早い時期より交流を含めることができました。これも、会長期を楽しむことができた要因だと思います。この 1 年間での例会、クラブ事業、イベントの多くの思い出がありますが、クリスマス例会では、メンバーと担当主事を含め 20 名弱のクラブでありながら、70 名を超える方々が集まる賑やかな時間となりました。さいごに、会長を引き受ける前に、「プリンスクラブでは会長は絶対だからね。」というお言葉を聞いておりましたが、三役と各役員が嫌な顔もせず、全力でサポートしてもらえる、プリンスクラブメンバーがいるというのは心強いです。次期の今西会長へバトンを渡すことができることが大きな喜びであるとともに、今後もプリンスクラブの例会の満足度及び充実力を入れて、さらに魅力あるクラブ作りに寄与したいと思います。1 年間、ありがとうございました。



主
題

志をもって例会に参加しワイズライフを楽しもう。

京都ウイングワイズメンズクラブ

会長 青倉 国土

月並みですが、一年は長いと思っていましたが振り返るとあっという間でした。
今期は私の意向でYサ事業に特に力を入れ、最終的には西日本区大会でYサ最優秀賞を取りたいと考えていました。単に賞がほしい、取りたいと思っていた訳ではなく、受賞を目指して、受賞という目標を掲げて、メンバー全員で事業に取り組んでいきたいと思っていました。それが、リトセンの「秋季準備ワーク」は台風のため中止。今期新たに2月の事業に入れた「大焚火のフェスタ」はまさかのリトセン初の大雪のため中止。そして「さくらフェスタ」は雨のため中止。私がワイズメンになってからは初めての（コロナ期間を除く）年3回もの事業の中止。私の思い描いていた結果は到底無理だと、自然には抗えないと思い知りました。そんな中「青い空と白い雲のキャンプ」は天候にも恵まれ、メインイベントの気球も上げることができました。子どもたちが喜んでくれたこと、笑顔を見れたことに安堵しました。「青い空と白い雪のキャンプ」は、中止になるのではないかと危惧する程の積雪でしたが、子どもだけでなく大人も存分に楽しんだキャンプになりました。今季最後の事業「インターナショナルチャリティラン」400m×4に出場し、年甲斐もなく大学生のリーダーを必死で追いかけて死ぬ思いをしました。交流としては、台中グレートビジョンクラブへの訪問。苦手な飛行機に25年ぶりに乗らなくてはいけないこと。これもまた死ぬ思いでしたが「案ずるより産むが易し」なんとかなるものです。飛行機を乗り切ったことは、この一年間の何事よりも、私自身の一番の出来事です。
数々の事業や例会の開催に際しまして、各委員長、委員の方々には心より感謝申し上げます。
一年間ありがとうございました。



主
題

新メンバーと共に前進

京都洛中ワイズメンズクラブ

会長 上原 智也

今期、会長と言う重責を感じながら一年間やってまいりました。
この一年は、一生忘れる事の出来ない年になった事は間違いありません。これと言って会長としての爪痕は残せませんでした。落中クラブの新メンバーの活動力や協力的な所を存分に感じる事が出来ました。会長主題であります。「新メンバーと共に前進」は、何となくクリア出来たかな？と思っております。
今期事業としまして、IBC提携先である富士五湖クラブとの交流も毎年のように高士山一泊合同例会も無事開催出来ましたし5月には養護施設つばさ園とのボウリングも開催出来ました。子供達の笑顔は最高でした。
今期は入会者0人の覚悟をしておりましたが一名入会して頂く事も出来ました。今期初めての会長職を務めさせて頂きましたがメンバー全員の協力が有り、なんとか一年頑張る事が出来、メンバーに感謝しかありません。
来期は新たな気持ちで成長出来ればと思っております。
京都部役員の皆様も一年間ご苦労様でした。

主
題

「覚醒エイブル未来に向けて」

副
題

「事業参加で親睦を」

京都エイブルワイズメンズクラブ
会長 上澤 正廣

エイブルクラブ 35 期を終えて

エイブルクラブ 35 期に会長職をさせて頂いたこと、皆様に支えられ完走できたことに感謝です。

私はワイズ歴 30 年目の年度に 3 度目の会長 (2006 年, 2015 年, 2024 ~ 2025) 職を体験しました。

エイブルクラブのメンバー数が多いときは 50 名近いメンバーで構成され、京都南部 (宇治市) を中心に活動しておりましたが、東陵クラブ (解散) をチャーターして以来メンバー数の減少が激しくなりました。

そのような時、山根弘丈 Ys (山根拓也 Ys/sp) の若いメンバーの入会があり、山根弘丈 Ys の知人お二人が入会することになりました。4 年前の西日本区大会 (熊本開催) に 4 名で参加したことがきっかけで、15 名にまで減少したクラブを甦らせようと 34 期から尽力してくれました。34 期は 10 名の入会、35 周年記念例会を開催 (2025 年 2 月 22 日) には 30 名にしようと、入会してくれたメンバーの紹介もあり相乗効果となりました。記念例会で 4 名の入会式を行う事ができ 31 名となりました。若いメンバーのエネルギーと古参メンバーと共に [覚醒エイブル] を体験できたことに感動した一年でした。ワイズの活動を親睦と他クラブとの交流、そして地域奉仕事業を新しいメンバーに体験してもらう機会をつくり私自身も力添えをして行きたいと思っております。

ワイズの活動で多くの人に出会い、多くの人にお世話になり、多くの体験をさせて頂きました。

本当にワイズライフを楽しめた 1 年でした。ありがとうございました。

主
題『チャレンジ + α 』副
題

「Wa」になって行動しよう

京都グローバルワイズメンズクラブ
会長 櫻田 真也

チャレンジ + α を掲げ活動した今期、今思うことは感謝です。今期が始まる一年くらい前から準備を始め約 2 年間、これほどまでにワイズのことを考え続けたことはありませんでした。準備段階では三役で何度も集まり、とにかく言いたいことは言い合おう、遠慮の要らない三役でいようと、積極的に意見交換をしました。時にはたじたじになった時もありましたが、私にとっては頼もしい三役になり本当に良かったです。そして優柔不断な私をグローバルクラブのメンバーには様々な場面で助けて頂き、そして盛り上げて頂きました。お陰様で全ての事業が楽しく笑いの耐えない活動となりました。特に交流委員会では「京都部全クラブ (神戸クラブ・神戸ポートクラブも) 訪問するぞ!」を掲げられ、無事達成。様々なクラブとの交流・親睦はグローバルクラブにとって有意義なチャレンジとなりました。また会長になったからこそ同期会長・京都部役員・西日本区役員の皆様をはじめ沢山の出会いがあり、ワイズの仲間が飛躍的に増えました。本当に素敵な出会いばかりで感謝しています。

今まで目立った活躍も無く、あまり目立たない存在だった私に、グローバルのメンバーがどれだけ協力してくれるのか不安になるときもありました。ですがグローバルクラブのメンバーは「会長!・さくちゃん!・さくさん!」等様々な場面で声を掛けてもらい、励まされ、協力して頂いたことは忘れることが出来ません。感謝です。本当に楽しかったです。これからも会長を経験したことをいかしてグローバルクラブの為、そして京都部の為に活動していきたいです。一年間ありがとうございました。そしてこれからもよろしくお願いします。

主
題

ギスギスしない

副
題

Be Water, My Friend

京都トップスワイズメンズクラブ

会長 巴山 直久

おかげさまで、一年の任期を終える事ができました。

反省すべきところもたくさんありますが、まずは会長期を通じて知り合った方やともに同じ時間を過ごし、ご協力いただいた皆さんに感謝申し上げます。主題を「ギスギスしない」としたのは、何よりも自分自身を律する事で皆の模範となり、お互いを思いやれるメンバー間の交流が深まればとの願いからでしたが、まだまだ道半ば会長期を終えた後も、引き続き取り組んでいければと思います。

副題 (Be water、my friend) には、トップスクラブが「入会して良かったクラブ」となるよう、良質な職業人の集まりとなるため互いに研鑽する場とすることの思いからですが、こちら、もう少し上手くメッセージの発信のやり方もあったかなと思いますが、これも自身の實力であると噛みしめております。会長として取り組んだ1年は、思い悩むこともたくさんありましたが、「リーダーとは何か」を深く考えさせられる機会であり、自分自身を見つめ直す良いきっかけとなりました。

これからは、自分の経験、与えてもらった思いやり、を次期以降の会長にうまく伝えていく事が大きな責務でないかと感じております。甚だ簡単ではありますが、今期を終えての挨拶とさせていただきます。

ありがとうございました。

主
題

Growing up

副
題

成長し続けよう

京都トゥービーワイズメンズクラブ

会長 松崎 和彦

今期を終えて、短かったようで長く、長かったようで短かった、という不思議な感覚になっています。

「Growing up」という主題を掲げて1年間会長を務めてまいりましたが、自分自身成長できたかな、と考えています。というのも、会長として無我夢中で突っ走ってきたので、自分自身成長したのかどうか、「はて」と思うからです。思い返せば今期は色々なことをさせていただきました。一番思い返されるのが2月に行われる予定だった「大焚き火フェスタ」です。期首から準備を進め、三つのクラブに協力をお願いして進めてきました。前日にはリトリートセンターで準備をし、あとは当日を待つのみとなりました。ところが当日、大寒波による大雪で、中止せざるを得なくなってしまいました。非常に残念でした。ただ、開催に向けて準備したことは、今期で1番の思い出です。あとは、会長期ということで様々な例会をしていただきました。例えば、龍谷大学の模擬法廷を借り切り、「浦島太郎は有罪か」という、普通思いつかないようなテーマで模擬法廷をしました。激論の末浦島太郎は無罪になりましたが、グローバルクラブの皆さんにたくさん来ていただき、盛大な例会になりました。楽しい例会でした。

1年間会長を務めてみて、トゥービークラブの底力を感じるとともに自分一人では何も出来ない、クラブ全員の支えがあってはじめて会長が務まるのだとひしひしと実感しました。この点が分かっただけでも少しは成長したかな、と思います。

クラブの皆様、同期会長の皆様、1年間ありがとうございました。



主
題

おかげさまで20年 『温新知故』

副
題

～ 深めあい 助けあい 高めあい
愛いっぱいのウェルクラブ ～

京都ウェルワイズメンズクラブ
会長 松田 博一

2024-2025年度を振り返って

今期は設立20周年を迎えるにあたり、主題を「おかげさまで20年 『温新知故』」と、いたしました。何度かお話させていただきましたが、「新しいことに挑戦していく中で、改めてその礎が見えてくる」そのような感覚を大切にしたいと思ったからです。

20年という年月は、「訳も分からずがむしゃらに攻めてきた気持ち」を、「作り上げてきた礎を守りたいという気持ち」が生まれ、守ることを目的としてしまう気持ち」に変化させてしまうことがあります。私たちは、本当に少ないメンバーで、クラブを運営していた時期があります。周りからご覧になると、大変そうに見えますが、意外にそんなことはありません。意思決定は速いし、クラブ内にもめごとがありません。どうしようもなく、できないこと（あえてやらないこと）も沢山あります。「何回も会長をやっている」と、冗談っぽく言っていますが、会長が変わっても、クラブ内の役割は何も変わりません。何せ3～5人で全部をやっているのですから。その中で、独特の考え方や、やり方が生まれ、それが何とかやってこられた自信とミックスされ、厄介な「守るべきもの」へと変わっていきます。私たちウェルクラブも、脱皮をしなければならい時が来たのではないのでしょうか。脱皮しても、「親睦・奉仕・自己研鑽」は変わらない。どのような事業を展開しても、どのような方法で事業を行っても、事業を行うことが目的ではありません。何をやっても、その目的は「親睦（を深めあい）・奉仕（助け助けられ）・自己研鑽（でお互いに高めあう）」であるはずで、す。周年に取り組む中、感じたことでございます。今期は、私ども京都ウェルワイズメンズクラブ20周年記念例会にご多忙の中ご参加いただき、誠にありがとうございました。おかげさまで、盛会裏に執り行うことができました。これもひとえに、長年にわたり私どもの活動にご理解とご支援を賜りました皆様のおかげと、深く感謝しております。これからも、ウェルクラブは、今までの経験を活かし、より一層YMCAの活動を盛り上げ、地域社会に貢献できるよう精進して参ります。どうか引き続きご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

本当に1年間ありがとうございました。

第29期 京都部 photography

《九州部バイクツーリング》



主
題

We are ZERO club !!

副
題

From zero to the future

京都 ZERO ワイズメンズクラブ

会長 佐藤 善紀

京都 ZERO ワイズメンズメンズクラブ第15期会長の佐藤善紀です。1年間、お世話になり本当にありがとうございました。また、当クラブの15周年につきまして、例会等の貴重なお時間を頂戴して、アピールタイムをさせていただき、この場をお借りして改めて御礼申し上げます。

15周年というのは、節目ではありますが、まだまだ若いクラブという印象をお持ちの方もおられるかと思います。当クラブは、10周年をコロナ禍により延期とせざるを得ない状況に追い込まれたため、15周年の周年記念は、他クラブのみなさまをお招きして周年記念をする初めての機会となり、大きな節目を迎えることになります。

そうは言っても、やはり15年は15年です。人間でいうと中学校を卒業するあたりでしょうか。ワイズメンズクラブに義務教育はありませんが、義務教育を卒業する人間と同じように、ZEROクラブは、ワイズメンズクラブとして、どのようにクラブを創造していくのか、ビジョンをもってクラブ運営をしていく節目を迎えたようにも感じています。幸い、役員会を中心に、今後のZEROクラブをどうするかといった話し合いがもたれており、その萌芽が出ている状況にあります。

京都部のみなさまにも多くのアドバイスを頂戴することになろうかと思いますが、引き続きご指導ご鞭撻のほどお願い申し上げますとともに、1年間、会長として活動できたことをZEROクラブのメンバーの皆さま、京都部の皆さまに厚く御礼申し上げます。本当にありがとうございました。

主
題

やってやろう！

副
題

継続と新しい挑戦

北京都フロンティアワイズメンズクラブ

会長 福島 龍治

ワイズとしての知識、会長になれるだけの経験も無く、自クラブ内だけの活動しかした事がない、全く何をどうしたら良いのか判らないけど やってやろう！ で今期が始まり一年が過ぎました。これまでどれだけ、チャーターメンバーの人達に甘えて、何もやってきてなかった、どれだけ大変な事をしてきてくれたんだと自分自身も会長となって初めてわかりました。例会、役員会に参加メンバーが多く集まらない、退会メンバーも出る、新規メンバーも1名のみこの結果だけを見るとダメな会長だったと思います。しかし私自身は会長を受けたからには、やってやろう！でメンバーの協力で出来たと思ってます。大変でしたが、正直楽しくさせて貰いました。

来期には、当クラブ10周年記念例会を自クラブとして初めて大きなイベントを迎えます。

微力ながら今期得た経験を次期会長に継承し、クラブメンバー全員で成功させたいと思ってます。

そして私自身がワイズとして今まで・今期よりももっと楽しく活動していきたいと思っています。

1年間、山下部長をはじめ役員の皆様大変お世話になりました。

ありがとうございました。



主
題

一意専心

副
題

徹底して親睦を深め、 積極的に参画する

京都ブラックワイズメンズクラブ
会長 森 大哲

今期は、メンバー全員が積極的に例会やワークに参画することで親睦を深め、心の拠り所となるようなクラブの基礎を構築することを活動方針として参りました。会長就任後、メンバー数が8名まで激減しました。期中に三役・委員長といった主役が離脱し、一時は存続の危機にまで陥りましたが、組織内の役割を徹底し、「親睦・会員拡大」に一点集中することによって、目標であった20名達成まであと一步のところになりました。

色々と考えさせられることが多い一年でしたが、京都部役員の皆様に TOF 例会で講義をいただいたり、他クラブの例会に赴いて運営の勉強をさせていただいたり、得るものが大半であった素晴らしい一年であったと思います。チャーター時から大きく雰囲気も変わり、少しずつですがクラブとして動けるようになって参りました。まだまだできていないことばかりではありますが、ここをリスタートとして、次期会長の神谷君には、更なる飛躍を遂げていただきたいと思っております。ブラッククラブは、時代にあわせて柔軟に、何よりもメンバー全員が積極的に楽しめる場所です。志を同じくした仲間と「また会いたい」と思えるクラブ作りを進めていただければと思います。



主
題

ワイズの活動を楽しむ！

副
題

Reestablish Y's Ties ～ワイズの絆の再構築～

沖縄ワイズメンズクラブ
会長 手登根 正

沖縄クラブの2024-25年度を終えるにあたり、期初の抱負としてかかげておりました

1. 再開したワイズメンズクラブの活動を加速させる
2. 沖縄YMCAとの連携再構築を継続する
3. ワイズの活動を楽しみなが地域に仕える

の三本柱で進めて参りました。特に、沖縄YMCAとの連携につきましては、沖縄新風クラブとの連携をするなかで沖縄YMCAの学童夏キャンプの運営支援を行い、より深い関係構築を図るために連携を深めてまいりました。また、春休みの期間のキャンプにおいては、子供たちの飲食支援をすることで、キャンプ運営の側面支援を致しました。前期より進めてまいりました、沖縄YMCAの館内の絵本コーナー（販売含）の設置も継続しており、児童・生徒が書籍に触れる機会の創造に努めてまいりました。

また、沖縄県内離島地域の子供たちのため、巡回移動図書館の展開は、検討段階会での問題解決に時間を要しており、沖縄本島を取り囲む島々の子供たち、特に、図書館がない地域の子供たちに、『書籍』に接する機会を提供する、移動図書館用車両で巡回をする『移動型巡回図書館』の運営をする事業を実現できるように、次期へ引き継がせていただき、合わせて、沖縄新風クラブとの共同事業として推進すべく協力体制を維持してまいります。この事業を通じて、離島地域の子供たちが本に触れる機会を提供して、基礎学力の向上につながればと考えています。



主
題

沖縄からワイズの新しい風を!

副
題

ワイズの魅力を発見し伝えていく

沖縄新風ワイズメンズクラブ
会長 金武 朝成

創立から2回連続の会長職をさせていただきました。思った以上に会員を募ることが出来ず、また結果を残せなく、ふがない状況となりました。沖縄 YMCA とのコミュニケーションに関しては、ゆっくりですが、ある程度の成果を会員の継続的な関わりで構築できてきました。その点に関しては、全く交流の無かった状態からは、成果としてお示し出来るものかと思います。夏には、キャンプにも参加させていただきました。初めての参加でしたので、ぎこちない部分もあったかと思いますが、第一歩としては大きな一歩であったと思われます。3 月にも、依頼がありましたが、年度末で参加できるワイズメンがおらず、飲み物などの提供をさせていただきました。

私自身の身体に関して、引き続き次期も会長をさせていただくこととなりました。創立からの 1.5 期、同じ主題でやってきましたが、次期は主題を変えて、足下固めに努めていきたいと思っています。

第29期 京都部
photography

《第28回西日本区大会》

2025 年 6 月 14 日



第29期 京都部

photography

